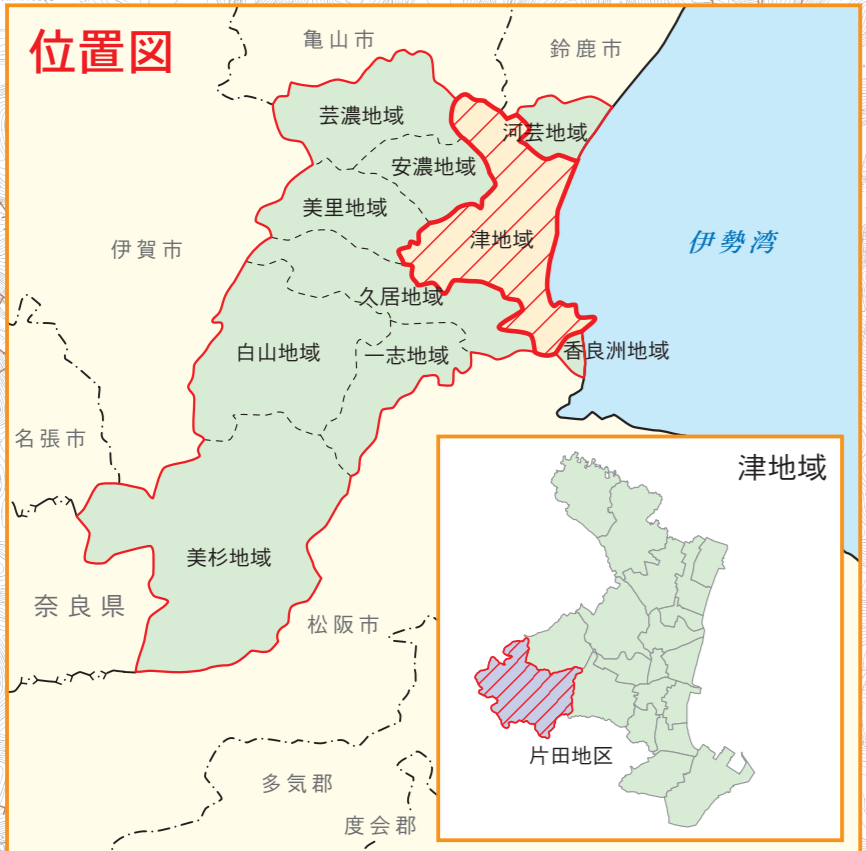


津地域片田地区 地震防災マップ

01-10



【凡例】

- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 緊急輸送道路
- 防災行政機関
- 避難所
- 一時避難場所(地震災害)
- ライフライン関係機関

【震度の説明】

震度階級	人	屋内の状況	屋外の状況	木造建物
6強	立っていることができない。はたきと動くことができない。	固定していない建物の家具のほとんどが移動、転倒する。天井が外れて落ちることがある。	固定していない建物の家具のほとんどが移動、転倒する。天井が外れて落ちることがある。	耐震性の低い住宅が倒壊する。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない建物の家具のほとんどが移動、転倒する。天井が外れて落ちることがある。	固定していない建物の家具のほとんどが移動、転倒する。天井が外れて落ちることがある。	耐震性の低い住宅が倒壊する。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
5強	非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。	固定していない建物の家具のほとんどが移動、転倒する。天井が外れて落ちることがある。	固定していない建物の家具のほとんどが移動、転倒する。天井が外れて落ちることがある。	耐震性の低い住宅が倒壊する。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
5弱	多くの人が、身の安全を確保しようと行動に支障を感じる。	固定していない建物の家具のほとんどが移動、転倒する。天井が外れて落ちることがある。	固定していない建物の家具のほとんどが移動、転倒する。天井が外れて落ちることがある。	耐震性の低い住宅が倒壊する。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。

※東海・東南海・南海地震で震度となるメッシュは地域内にはありません。気象庁震度階級関連解説表(平成28年2月)より抜粋

【液状化の説明】

液状化危険度ランク	予想される状況
極めて高い	液状化の危険度は極めて高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は3割以上と想定されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたり、道路が陥没したり、液状化した場所もある。
高い	液状化の危険度が高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は5割程度と想定されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたりする場所もある。

・造成地では一般的に、盛土地盤については液状化の可能性があると考えられます。これに対して切土地盤では液状化の可能性は低いと考えられます。この地図では、造成地全域を盛土地盤として液状化危険度を判定しているため、切土地盤の造成地については、実際よりも危険度を高く評価している可能性があります。

【急傾斜地の説明】

急傾斜地でがけ崩れが発生すると、急傾斜地の上部ではがけの高さに相当する範囲で土砂が崩れ落ち、急傾斜地の下部ではがけの高さの2倍に相当する距離まで土砂が堆積することが一般的です。

角度が30度以上、高さ5m以上の区域は、法律により「急傾斜地崩壊危険箇所」に指定されています。

● 防災行政機関

名称	電話
津市役所	229-3104
津警察署	213-0110
中消防署中署	226-2580
中消防署西分署	225-7431
中消防署南分署	234-3512
北消防署北署	232-3092

🏠 避難所一覧(地震災害・風水害)

名称	電話
片田小学校	237-0014
片田出張所	237-0002

🏞️ 一時避難場所一覧(地震災害)

名称	電話
片田工業団地北公園	—
片田田中公園	—
緑が丘サンパール公園	—
泉ヶ丘団地中央公園	—

🏥 救急告示医療機関

<津地域>

名称	電話
医療法人 吉田クリニック	232-3001
若狭病院	232-2216
国立大学人 三重大学医学部附属病院	232-1111
武内病院	226-1111
大門病院	226-5525
医療法人 永井病院	228-5181
真山病院	227-6171
永生協病院	225-2848
若葉病院	227-0207

<久居地域>

名称	電話
聖行院(法立)立前院 三重中央医療センター	259-1211
柳原温泉病院	252-1111

<白山地域>

名称	電話
三重県立一志病院	262-0600

📡 ライフライン関係機関

名称	電話
中部電力(株)津営業所	228-5559
東邦ガス(株)津営業所	228-7161
西日本電信電話(株)三重支店	116
津市水道局	237-5811

この地図は、既存の図面としては最新の平成12年作成の津都市計画基本図を継承したものでありますが、平成12年以降に建てられた建物については表示されておりませんので御了承ください。

